

鶴の恩返し

お盆の由来

今回はお盆の由来について書きたいと思います。次ページに詳しく書きましたが、お盆は、インドのウラバナ(逆さ吊り)という言葉からきていて、「さかさまに吊り下げられるような苦しみにあっている人を救う法要」らしいです。



ところで皆様は「藪入り(やぶいり)」という言葉をご存知でしょうか。私も知りませんでした。江戸時代、お正月とお盆に奉公人が休みをとって実家に帰ることが出来る時期を「藪入り」と言っていたそうです。「藪入り」は他家に嫁いだ女性が実家に戻る事の出来る時期でもあり、自分と自分の家(先祖、ルーツ)の繋がりを確認する時期だったようです。

日本のお盆は、仏教の「ウラバナ」の行事と「藪入り」の、今の自分があるのはご先祖様のお蔭様であると感謝する、先祖崇拝の気持ちが結びついて伝えられたもののようです。

江戸時代以前のお盆行事は武家、貴族、僧侶などで主に催され一般庶民に広まったのは江戸時代以降です。ちなみにわが国初のお盆は推古天皇の時代 606 年になるようです。

お盆の習わしも、地域や時代、宗教・宗派によってさまざまな形で伝わってきたと思いますが、親族が一堂に会し、先祖や個人を偲び、自分を顧みるというお盆の根幹は、それこそ推古天皇の時代から変わらないものではないでしょうか。



こういう風習がある日本という国に生まれてこられて幸せです。最近ではネット社会のせいで、顔が見えないことを良いことに、上から目線で他人や社会を評論家のように批判しているコメントをよく見かけます。

「コロナが収まらないのも政府のせいだ。」とか。実際は我々国民の意識の問題で連帯責任なのに…。他者批判や責任転換が常態化して民度を貶めることが無いよ

う、個人個人が、他人でなく自分を律するような誇り高い国民でいつまでもあって欲しいものです。まずはお盆の日に故人を思い出し、感謝の念を送りましょう！

小山



精進料理



- 南瓜
- 巾着
- 里芋
- 青もみじ麩
- 笹大福
- 焼ゆば巻
- 赤梅甘露
- 昆布巻
- 蓮根甘酢漬
- 青唐辛子
- 胡麻豆腐
- 刺身蒟蒻
- 茗荷
- あんず
- 湯葉巻擬製豆腐
- 丸十芋蜜煮

【精進辯當】 (お吸物セット付)

.....税込3,300円



- 南瓜
- 笹がき信田
- 里芋
- 青もみじ麩
- 焼ゆば巻
- 椎茸
- つくね串
- いか団子
- 茗荷
- 昆布巻
- よもぎ団子
- 丸十芋蜜煮
- 青唐辛子
- 米茄子田楽

【精進落し辯當】 (お吸物セット付)税込3,300円

※ 献立は仕入れの事情により、一部変更させていただく場合がございます。 ※ 使用しているお米は国産米です。 ※ お吸物の出汁は、昆布と鰹を使用しています。



【幕の内辯當】 (お吸物セット付)税込3,300円



【お子様辯當】 (お吸物セット付)税込1,650円
おもちゃは付いておりません。

創業明治30年

鶴鳴館

鶴家



お盆の法要

佛教では、お盆のことを正式には盂蘭盆(うらばん)と言います。インド・サンスクリット語の「ウラバンナ」を漢字で音写したもので、「逆さまに吊り下げられるような苦しみにあってる人を救う法要」という意味があるようです。日本では、これに「今の自分があるのは、ご先祖様のお陰である。」と感謝する先祖崇拜の心が加わっています。

十三日の夕方に迎え火を焚いてご先祖様の御霊をお迎えし、親戚一同集まって亡くなられた方を偲び、供養された後十五日夕に送り火を焚いてお送りします。

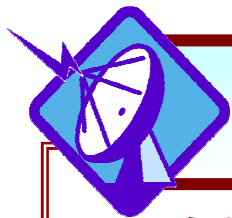
お盆は、ご先祖や故人と私たち現世の血族がふれあう大切な行事です。次の世代、またその次の世代へと受け継いでいって欲しいものです。

お盆の営業について (八月十三日〜十五日)

お盆の3日間は、ここでご案内している特別商品のみ販売となります。いずれも、お盆の期間だけの限定商品となっております。

(ご予約) 099(二九四)二五〇〇

※ お吸物は、具材と汁に、人数分の使い捨ての容器を添えてお届けいたします。



これが気になる

世の中の気になることを
ピックアップ

身近な生き物、猫について気になることを調べてみました

■猫は本当に猫舌なのか

本来、動物の世界では熱々の食べ物というのはないので、どの動物も熱いものは食べられないようです。それでは、なぜ猫舌といわれるようになったのかというと、猫が昔から人々の生活の中に溶け込んだ、とても身近な動物だったからというのが理由だそうです。猫にとってはいい迷惑かもしれません。

■猫はなぜ箱や袋に入りたがるのか

狭いところに入りたがる最も大きな理由が、その狩猟本能です。野生の猫の狩りは、獲物に気付かれないように狭くて暗い場所でじっと身を潜め、一気に飛びかかるというもの。そのために、狩りの真似ごとをして遊んでいるときの猫は、箱や袋の中から外を覗くようにしています。

■猫がチャオチュールを大好きな理由

猫が夢中になって舐めているテレビ CM で有名になった、いなばの「CIAO ちゅ〜る」シリーズ。なぜあれほど夢中になってしまうのでしょうか。実は、猫の嗜好性には、味覚よりも嗅覚が大きく影響します。チャオチュールは開封すると猫の大好きな香りが漂います。人間よりもすぐれたその嗅覚で、美味しいおやつにつられてしまうのです。



コトのはじまり

レトルト食品

レトルト食品の研究開発は、1950 年ごろのアメリカで行われていましたが、一般消費者向けに広く受け入れられる製品化に成功したのは、1968 (昭和 43) 年に大塚食品が発売した「ボンカレー」が最初でした。

発売当初は半透明のレトルトパウチ製品でした

が、翌年にはアルミ箔をしん層とした 3 層の遮光性のパウチが導入され、長期保存が可能となり加熱時間も短くなったことで一気に広まりました。

1968 (昭和 43) 年に市場に登場してから約 40 年間で、レトルト食品はおよそ 18 億 1427 万個 (180g 入り換算)、生産総額では約 2104 億円になっています。



創業明治 30 年 仕出し・宅配の鶴鳴館

鶴鳴館

鶴家

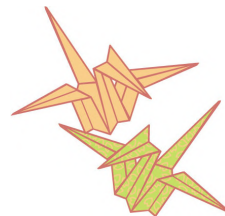
☎ 099-294-2500

〒891-1304
鹿児島市本名町 855-2

Mail : yuzo@kakumei.com

URL : <http://cataering-kakumei.com/>

受付時間 : 9:00~17:00
配達時間 : 10:00~18:00



編集担当 : 小山雄三・持留智子

七月・八月限定

すず風



すず風・・・2,200円 (お吸い物付)



すず風・・・1,650円

※ 献立は仕入れの事情により、一部変更させていただく場合がございます。 ※ お米は国産米を使用しています。

夏のお辯當のご案内 すず風

遠方の山々から木々を渡る葉騒や蝉の声、
そして打ち水された庭の縁には涼やかな風鈴の音。
足下からは命に溢れる草の香りを感じながら
木陰に椅子や卓を持ち出して午餐のひとつとき・・・

肌を感じる涼しさだけでなく、
景色や香り、そして音にも「涼」を見いだす
日本人が昔から持つ繊細で豊かな感性。

その感性を澄まして夏を満喫する愉しみは、
私たちに与えられた素敵な贅沢と言えるでしょう。



すず風・・・1,100円

〒891-1304
鹿児島市本名町855-12
電話099(二九四)二五〇〇

鶴鳴館

鶴家



鶴家仕出し

検索



モバイルサイト